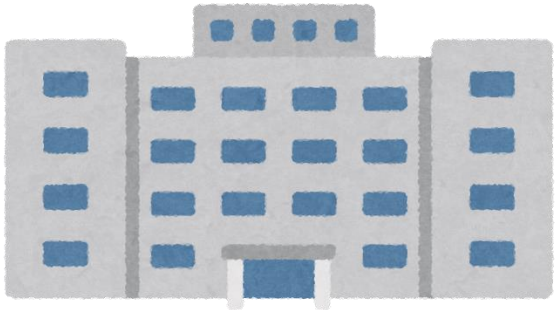
事前アンケートの結果から

令和２年１１月５日
第１層協議体【資料３】

②地域のつながりやコミュニティ、地域活動団体への影響

①高齢者本人や介護者への影響



③自治体や様々な事業への影響

①高齢者本人や介護者への影響	②地域のつながりやコミュニティ、地域活動団体への影響	③自治体や様々な事業への影響
身体機能（下肢筋力)の低下	シニアクラブの活動中止。	困っている人がいる可能性があるのに「困ったら相談してください」とPRすることができない。
認知機能の低下	高齢者宅訪問の中止。	フレイル・オーラルフレイルを予防するための講演会を中止した。
活動できないことによるストレス増	共通目的を持って参加できる事業型のコミュニティ（脳トレ元気塾、脳力アップ塾、お気楽貯筋クラブ、ふまネット）が中止。	認知症サポーター養成講座を中止。（認知症について正しい知識や対応を学ぶ）
介護者が気持ちを吐露できずに息詰まる。介護疲れにつながる。	認知症家族会の中止。	シニアしっとく講座を中止。（高齢者に関する様々な得する情報）
心配な人がいるが、何もできずにストレスを感じる。	会場（福祉施設）を活用できず、休まざるを得ない状況になった。	メディケアnetの中止。（市内の医療介護の連携）
おしゃべり出来る場がなくなり、ストレスを解消しづらい状況にある。	イキイキハイキングが中止となり、高齢者の外出を促せない。健康維持の機会を作れない。	働くことを通じて生きがいを獲得することがミッションだが、そのPRができない状況になった。（役割を入手できない、失う状況に）
活動自粛を余儀なくされている方達が元気を失っている。	サロン活動の中止。	ボランティアコーディネート（活動や依頼の相談、ボランティア募集や紹介）がほぼストップした。
参加者同士でふれあう機会が失われた。	主催イベント、イベント出展の中止。	活動意欲のある方の掘り起こしや働きかけができなかった。